

## 学位論文審査の要旨

学位申請者	菊森 淳文
論文題目	地域振興における効果的な人口・観光・物産振興政策の在り方（長崎県の事例を踏まえて）

審査（試験・試問）委員会

主査 教授 杉原 敏夫

委員 教授 西村 宣彦

（長崎大学経済学部）

委員 教授 田中 俊彦

委員 教授 ブライアン・パークガフニ

### 〈論文審査の結果の要旨〉

本論文は、我が国が人口減少・高齢化に直面し、全国の各地方地域が経済の停滞・活力の低下に見舞われ、長期的な衰退が危惧されているなかで、このような事態を極力回避するために、効果的な地域振興政策およびその実現のための行政と住民との協力を前提とした地域経営の在り方を検討し、評価と提言を行ったものである。

本論文は6章から構成され、上記に示した目標に向かい、実態の確認から政策仮説の立案とその検証および地域経営への新しい考え方の導入とその評価が論理的に展開される。

第1章では、「人口減少対策」、「物産振興政策」、「観光振興政策」の3つの政策の相互関連性を明確にし、地域経営を効果的・効率的に行うために「戦略的地域経営の」必要性を提起した。

第2章では、上記の3つの政策に対して、マクロ経済学的な分析手法により、各政策の有効性を検証している。これらの経済分析において、これらの3つの政策の展開が雇用の拡大と創出、移出と移入の双方から見た経済の活性化をもたらし、最終的には地域総生産の向上をもたらすことを明らかにした。

第3章では、第2章の進め方を長崎県に適用し、課題を体系的に整理し、産業連関表とSWOT分析の手法を用いて検証し、定量的には内生部門の強化と付加価値生産性の高い業種へのシフト、定性的には人口減少・安定雇用・観光サービスの向上への産業構造の変革を課題としてとりあげ、さらに長崎県の離島対策への言及も行っている。

これまでの議論から、地域経営の根本的な考え方として、総合的な視点での地域リソース対地域アウトカムの最大化を目指す「戦略的地域経営力」を提起し、その手法としてバランス・スコア・カード（以下、BSCと略記）の導入と構築並びに評価を行ったものが第4章と第5章である。第4章においては、「戦略的地域経営」の概念とこれまでの自治体導入の調査分析によるBSCの自治体活用における問題点と課題に言及し、第5章においては、長崎県を例にBSCのフィージビリティに言及し、第6章においては、これまでの総括と課題の整理と政策提言を行っている。

本研究成果は、長崎県を中心とする綿密な実証を踏まえた政策展開と地域経営の在り方を整理し、戦略的地域経営の視点に立った、BSCの導入とその評価という総合的かつ斬新的なアプローチがなされ、今後の地域経営に向けて大きな寄与があるものと考えられ、博士（学術）の学位を授与するに十分に値するものである。

### 〈試験（試問）の結果の要旨〉

学位請求論文の内容、ならびに関連分野についての学識についての諮問を行った結果、本申請者は、博士（学術）の学位を受けるに十分な学識を有していることを審査（諮問）委員全員の一致により認めた。